

**木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨**

<b>会議名</b>	第 58 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
<b>日 時</b>	令和 4 年 3 月 29 日 (火) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分	<b>場 所</b>	木津川市役所 北別館会議室
<b>出席者</b> (出席者…■) (欠席者…□)	<b>委 員</b>	<b>【学識経験者】</b> ■大庭 哲治委員 (副会長)      ■井上 学委員 <b>【市民代表】</b> ■占部 禎佑委員                      ■藤田 弘志委員 ■津田 浩司委員                      ■平田 克子委員 □行衛 満委員                          □中島 英一委員 <b>【事業者】</b> ■兒嶋 一裕委員 ■杉浦 良知委員 ※代理：谷村 宗昭 (近畿日本鉄道株式会社新田辺駅助役) ■大西 秀樹委員 ※代理：大久保 篤士 (奈良交通株式会社乗合事業部統括次長) ■津田 秀夫委員 ■足立 高広委員                          □大江 正泰委員 □梅田 幹夫委員                          □加藤 隆委員 ■今西 宏委員 ※代理：杉本 晃男 (奈良交通労働組合執行委員) <b>【行政機関】</b> ■曾川 高円委員 ■田中 茂行委員 ※代理：藤尾 将希 (国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所係員) □松田 克也委員                      ■安見 浩一委員                      ■松田 直樹委員 □河井 規子会長                      □田中 達男委員 ■滋井 邦明委員	
	<b>その他</b>	<b>【オブサーバー】</b> □片田 一真	
<b>事務局</b>	井上事務局長、山口事務局次長、松下課長補佐兼係長、日比主任、楠見主任		
<b>傍聴者</b>	0 人		
<b>議 題</b>	1. 開会 2. 議事 (1) 報告事項 ①公共交通マップについて (2) 協議事項 ①令和 4 年度予算 (案) について【資料 1-1、資料 1-2】 ②第 2 次木津川市地域公共交通網形成計画に定める施策の状況について【資料 2】 ③木津高山線の再編について【資料 3-1、3-2、3-3、3-4】 (3) その他 ①次回協議会の日程について ②その他		

	<p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として津田委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項 ①公共交通マップについて 当日配布を行った公共交通マップの成果品に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項 ①令和4年度予算（案）について 資料1に基づき、事務局から提案があり、承認した。 ②第2次木津川市地域公共交通網形成計画に定める施策について 資料2に基づき、事務局から説明があり、承認した。 ③木津高山線の再編について 資料3に基づき、事務局から説明があり、次回協議会への継続審議となった。</p> <p>(3) その他 ①次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨 ◎議長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事 (1) 報告事項 ①公共交通マップについて 【配布資料】当日資料 公共交通マップ 【主な意見・質疑等】 ◎：公共交通マップの配布はこれからか。 →4月号広報に折り込みとなるので、4月1日前後に各戸に配布される予定。4月広報での配布だけでなく、木津川市に新たに転入されてきた方には、市担当課よりお渡ししていただくよう調整済みであり、また市内駅などの交通結節点にも配架できるよう現在調整を行っている。 ◎：公共交通マップを作って終わりではなく、多くの方々に利用していただけるように、</p>

今後の周知、活用方法も併せて進めていくようお願いする。

## (2) 協議事項

### ① 令和4年度予算(案)について

【配布資料】資料1-1、1-2 令和4年度予算(案)について

【主な意見・質疑等】

→意見なし

### ② 第2次木津川市地域公共交通網形成計画に定める施策の状況について

【配布資料】資料2 第2次木津川市地域公共交通網形成計画に定める施策の状況について

【主な意見・質疑等】

◎コミュニティバス車両デザインの検討については、令和5年度～令和6年度に実施となっているが、今年度実施となっている。その他今年度実施した施策の中で、計画上今年度実施する予定でなかった施策があるが、どのような状況か説明してほしい。  
→コミュニティバス車両デザインについては、計画上は令和5年度～令和6年度に実施することとなっていたが、今年度に山城線の車両入れ替えがあったため、計画を前倒しして実施したもの。

観光施設へのアクセスサイン充実についても、令和5年度～令和6年度に実施することとなっているが、令和3年10月のJRダイヤ変更時に実施した当尾線のダイヤ改正で、時刻表修正をおこなった際に合わせて加茂駅東口バス停(当尾線)に英語標記の時刻表を掲載し、当初の計画より前倒しで実施したもの。

◎実施した施策の状況については、よく分かった。今後は実施した効果についても精査してほしい。

### ③ 木津高山線の再編について

【配布資料】資料3-1、3-2、3-3、3-4 木津高山線の再編について

【主な意見・質疑等】

○市の財源も潤沢にあるわけではない。バス事業は赤字の圧縮を進める必要がある一方で公共性のある事業なので両者のバランスが非常に難しいであろうと思慮している。空気を運ぶような赤字路線を維持するのではなく、赤字路線の廃止や新たな路線の創設などを実施していく必要があると考える。個人的には、路線を廃止する案に賛成する。

○この利用人数での路線維持は内部補助でも厳しいというのはよく分かる。現状での路線維持はできないことから、事務局提案の案①～⑤を検討していく必要があると考える。

◎事務局としてはどの案での方針で考えているのか。

→地域住民の方の足の確保は重要であるため、市が支出してでも確保していく必要があると考える一方、市が廃止路線を維持したという実績ができてしまうと、今後他に廃止路線がでてきた場合、同様に市での路線維持を求められるのではと危惧しているため、案の選定には苦慮しているところである。その中でも、現状木津高山線を通勤

で固定利用されている方がいる中で、その需要は保持する必要があると考えるため、案⑤が最もよいのではないかと考えている。案⑤をとる場合でも、廃止路線があっても市が必ず保持するものではないとの考えを地域の方に示すことや、当該地域の利用促進事業も合わせておこなっていかねばと考えている。

あくまで事務局の考えであり、本協議会は議決方法は、全会一致を基本とし、成立しない場合は多数決にて行うこととなっているので、本協議会で審議をおこない方針を決定していきたい。

○今日この場で再編方針を必ず決定する必要があるのか。

→協議会にて再編方針を決める必要があるが、今回初めて説明する事項であり、今日この場で方向性を決定することは難しいと考えているため、次回協議会までの継続審議とする事は事務局として想定している。

○人口が増えている木津川市で、利用人数が減っているということは必要とされていない路線と思われる。ただ、通勤・通学の利用者を守ることは重要と考えるため、案⑤が妥当と考えている。継続審議も可能とのことだが、交通事業者としてはその間も赤字を出し続けることになるので、早急に方向性を決定した方がよいと考える。

○奈良交通株が運行する和東町での路線は、大きいバスで運行しているが収支等の状況はどうなのか。

○利用者は減っているため収支状況は厳しい。その中で国や町からの補助金を受けながら運行を維持している状態。大きいバスを使用するのは、生徒数にもよるが、通学で利用される方がいる事が理由となっている。

◎木津高山線の再編については、鹿背山地域の方は把握しているのか。

→木津高山線の再編については、現在事務局と奈良交通株式会社の間での協議に留めている。今回の協議会で再編案を公開し、今後方向性が決まれば地域長を中心として、地域の方にも報告を行おうと考えている。

○方向性が決まってから地元へ報告となった場合、報告の時期が遅くなるため、ハレーションが起こらないかが危惧するところ。事務局の負担のならないように進めてほしい。

◎今回は、再編案についての議決は取らず、次回協議会への継続審議とする。次回協議会までに、地域の方には報告をおこなうようにしてほしい。

### (3) その他

#### ①次回協議会について

6月中を目途に事務局で調整し、改めて通知させていただく。

#### ②その他（事務局）

→特になし。

③その他（委員）

○今後協議会で審議する内容やスケジュールを示してほしいと以前の協議会で依頼したが、それは本日の資料2の内容となるのか。

→資料2で示しているとおりに、新型コロナウイルス感染症状況もあり、実施できていない事項もあるが、第2次木津川市地域公共交通網形成計画に則り、協議会で審議を行っていく。

○持続可能な公共交通を審議する分科会を設定してほしいと以前の協議会で発言したが、その後どのような検討が行われたか教えて欲しい。

→事務局としては、公共交通の利用促進に力を入れて実施していきたいと考えているので、利用者目線での分科会が設定できればと考えている。また、4月から新しい市民代表委員が来られるので、その方々も含め分科会の検討をさせていただきたい。

○令和3年第4回定例会の一般質問でコミュニティバスと地域公共交通施策について、質問があったが、どのようなやり取りがあったか又そのやりとりで今後協議会で審議していくことがあれば教えてほしい。

→高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めるための交通施策について市の考えはという質問で、具体的な内容としては、南加茂台地域から木津地域に直接行くことができる路線の導入をすることが、安心して暮らせるまちづくりに繋がるのではという内容だった。市としては、第2次木津川市地域公共交通網形成計画に定める新規路線の導入フローに基づき進めるため、まずは地元での合意形成をしていただきたいと答弁をおこなった。今後地元での同意形成がなされ、申請書の提出があれば、本協議会での検討を行うこととなる。現在、地元での同意形成に動かれている事は把握しているが、現在申請書の提出は無い。今後の状況を注視していきたい。

○木津駅ロータリー周辺に駐車されている自家用車を何とかしてほしい。自家用車を使用されている方へ、駐車車両がバス運行の妨げとなっている旨の啓発を実施してほしい。

3. 閉 会

以上。